

‘08 冬合宿 南ア 三峰川 岳沢

日時: 2008年1月2日~5日

メンバー: L田中、野澤(記)

昨年岳沢へ行く予定だったが、直前に怪我をしてしまい断念した。昨年行った田中さんが、今年も行っても良いよと言ってくれたのでお言葉に甘えることにした。しかし、1/1に予定がありその前後しか行けない。結局2人の都合の良い1/2~5に決まった。幸いなことに年末は荒天が予想されていたが、1/2からは回復傾向とのこと。好天の中でのビッグウォールが楽しめそう。

1/2(火) 17:00 JR茅野駅で田中さんにピックアップしてもらおう。うっかりヘルメットを忘れてしまい田中さんからお借りした。杖突峠越えで仙流荘へ向う。前日まで雪が降っていたらしくところどころに雪が残っていた。タイヤは夏タイヤだったが、少し滑りながらも何とか乗り切り高遠まで抜ける。高遠のタクシー会社に予約を入れに行ったが、丸山谷ゲートまでは雪があり入れないと言われる。戸台周辺のアイスに転進するかどうかが相談したが、やっぱり岳沢へ行きたいという思いが強く、今日中に行けるところまで行くことにした。高遠のコンビニで慌てて食料を買ったが、すぐ先にCOOPとセブンイレブンがあった。失敗! 仙流荘に車をデポし、タクシーで丸山谷へ向かう計画だったが、タクシーがチャーターになると言われたので欲を出し、車を戸台へデポすることにした。仙流荘でタクシーを待っている間に身支度を整える。タクシーと合流後2台で戸台へ向う。しかし、最後の丹溪山荘前の登り坂がアイスバーンでスリッパで登れない。しょうがないので少し戻ることにしたが、ズルズル滑りコントロール不能。車体が山側に寄りぶつかりそうだ。タクシー運転手と偶然通りかかったもう1台の人たちと4人で押しつりしながら脱出劇を繰り返す。漸く脱出したのが21:30。最後は油断からか雪の無いところで脱輪するというおまけつき。2人で押したら意外と簡単にあがり、ホッとした。

前途多難???

タクシーで丸山谷へ向う。タクシーの方が頑張ってくれ無事ゲートまで送ってくれた。感謝感謝。思わず「釣はいらないよ!」時間は22:10。さあスタートだ。林道には、雪がうっすら有り踏み後が付いている。

発電所ゲート前で23:00。ここにビバーク。軽く入山祝いをしてすぐに眠りにつく。

1/3(水) 晴 起床5:40 出発7:10

トレース有り。営林小屋(9:00)までは迷うことなく進む。臭いと聞いていたので近づかず、離れたところで休憩する。その後もトレース通りに行ったが、行き過ぎているようで少し戻り樹林帯へ入る。噂どおりの倒木潜りに体力を使い果たす。漸く岳沢越えを通過(12:20)し下降開始。岳沢出合着(12:48)。岳沢を遡上し始める。F1手前の2100m付近で15:00。

広い平らなところで本日のBPとする。

30分後に男女1名ずつのパーティーが登っていった。どこまで行くのだろうか?

1/4(木) 晴 起床5:00 出発7:10

夜20cm程雪が降り、トレースが消えかかっていた。F1が近いので、朝から登攀準備をして

スタートする。少し行くとF1。昨日上っていったパーティーが取り付いていた。左からアタックするが、氷がザクザク状態で下の釜に落ちそうなので中止。同じルートを通る



ことにした。昨年は埋まっていたそうなので、今年の氷の発達はいマイチなのか?

【F1: 釜がパッキリ 上部も水流が見えていた】

続いてF2も突破。F3までは少し歩く。



【F3:右側のバーチカルをリード中の野澤
左は、先行パーティーのトップ】

F3は意外と立っているのので、空身で行くことにした。途中でフィーフィーにぶら下がり、休みながら無事突破。上部に灌木がありビレイが取れる。自分の荷物を引き上げるが、これがきつい。漸く引き上げ完了。最後に田中さんが登ってくる。しかし、途中で止まりテンションがかかる。しばらくその状態が続いた後で、降ろしての指示で降ろす。その後に荷物用のザイルで降りてきてくれの指示。えっ？何故？とりあえず荷物用のザイルで下降する。バーチカル部まで来て漸く事情が飲み込めた。休んでいる最中にフィーフィーが外れ、アックス1本を置き忘れてしまったらしい。アックスを回収し田中さんへ渡す。さあもう一回登り直した。実は、荷物引き上げで腕がパンパン。しかも、ユマールを持っていなかったのでもッシャーをずらしながら登る。これが意外と重労働。やっと登りきったが、指や腕が攣りだしビレイもままならない。情けない。その後田中さんがあつという間に登

ってきた。

F4は田中さんが荷物を持ってリードし登る。F3ほどではなかったのでも荷物も背負って登るが、6m程度で腕に力が入らなくなりテンションをかける。F3の疲労が残っているのか？先行パーティーも、一人が登れずここで撤退。傷心に長い岳沢越えを帰るのはきつい。可哀相。撤退は嫌だ！しょうがないので、下まで降ろしてもらい空身で登る。まだバランスの悪い登り方をしているからすぐに疲れてしまう。未熟だな～と痛感！F4登攀中に下の方で雪崩の音がした。

我々のパーティーだけになったようで、昨晚の雪でトレースが消えていた。

F5、F6、F7とラッセル+アイスで抜ける。



【F6通過中】

有名なF8ソーメン流しの下で16:00になっていたのでも、ここでビバークする。夕陽を浴びて輝くF8に感動しながら、しかも雪を被った中央アルプスが良く見える。



【夕陽のF8と田中さん】



【夕陽のF8と野澤】

1/5(土) 晴 起床5:00 出発7:20

F8最初の1ピッチ目は野澤がリード。50mくらいのところに残置ハーケンが2枚有り、ピレイを取る。2ピッチ目以降は田中さんがリード。高度感バッチリの中F8完登(9:40)。F9を越え、奥の二股を左へ進み稜線へ出て大仙丈ヶ岳着(13:00)。稜線上は風が強く雪が飛ばされており、トレースがしっかり付いている。



【大仙丈ヶ岳頂上:上 田中さん 下 野澤】

仙丈ヶ岳着(13:40)。



仙丈ヶ岳の頂上は強風が吹き荒れていた。これから夏道で7時間半の下山開始。雪は風で飛ばされておりラッセルは無さそう。



【仙丈ヶ岳を後に下山中 道はハイウェイ】

小仙丈ヶ岳(14:40)、北沢峠(16:35)着。北沢峠から戸台まではヘッドランプでの下山になる。途中から河原沿いの道なので心配していたが、途中で会った人の話では、道もしっかりして分かりやすく、赤布も随所に有るから大丈夫でしょうとのこと。河原沿いの道を下山することにした。雪が有ったので踏み跡も分かりやすかったが、河原はところどころ道が途切れており、地図とは随分変わっていて不安だったが、田中さんがルートファインディングしてくれ無事に戸台へ着く(20:40)。

帰りは風呂屋も開いていない時間。高遠の蕎麦屋で蕎麦を食べる。この店で南アルプス山岳救助隊の元副隊長の方と会い、苦労話を聞かせていただいた。昨年引退したそう。ご苦労様でした。

電車がなくなる時間だったので、家まで送ってもらう。

田中さん 大変ありがとうございました。